

1万エキュートの
ティファニア



For Adult Only

森で食べ物を探していたら
奴隷商人に捕まり
売り物にされてしまった
ティファニア

その美しく可憐な姿に
高額の値がついた為
買い手の尽くが貴族だったのは
せめてもの救いだらうか

あ……

へへダンナもお首が高い
こいつは上物ですぜ

ポフッ
少しばかり値が張るようだな
まあこれほどの出物なら
致し方あるまい
とりあえず体を見せる

へへ良く見てって
くたせと

チャラ……

ではまず身体検査だ
歯を見せる

かしこまりました
ほうれ、口を開けな

カチッ

うむ
いいだろう

下も見せる
中までしっかりな

いや……!

モジ

ほら、さっさと
足を開きな
下着をおろせないだろう

モジ

いやああああっ!!

どうですか?
処女膜もありますし
間違いなく初物です

そのようだな
よかろう、買うぞ



よし、これで全部だ
検める

へっとうも
じゃ、早速イヤリングの
準備を

すごい……
あんなに金貨が……

ポララ

ララ

チャッ

ラッ



手錠も外したし
これでお前は私の物だ
それでは……

分っております
そちらの部屋で……

うむ、では
その部屋に入ったら
服を脱ぐんだ

スリ
スリ

っ……!!



ひっ!!

これでお前は
ダンナのモノさ



これを着けている限り
お前はダンナの命令に逆らったり
逃げたりしたら死ぬからね

そ、そんな……

チィン
イィン



よーしい、いい格好だ
たっぷりと
可愛がってやる

うっ……

まずは
口づけと行くか

んぐっ!!

フキ

フキ

チュウッ

チュルッ

んっ!!



キニツ

ふう、お前の唾液は
とても美味だな

グニツ

うっ……

グニツ

モジ



どれ、その胸で
はさんでもらおうか

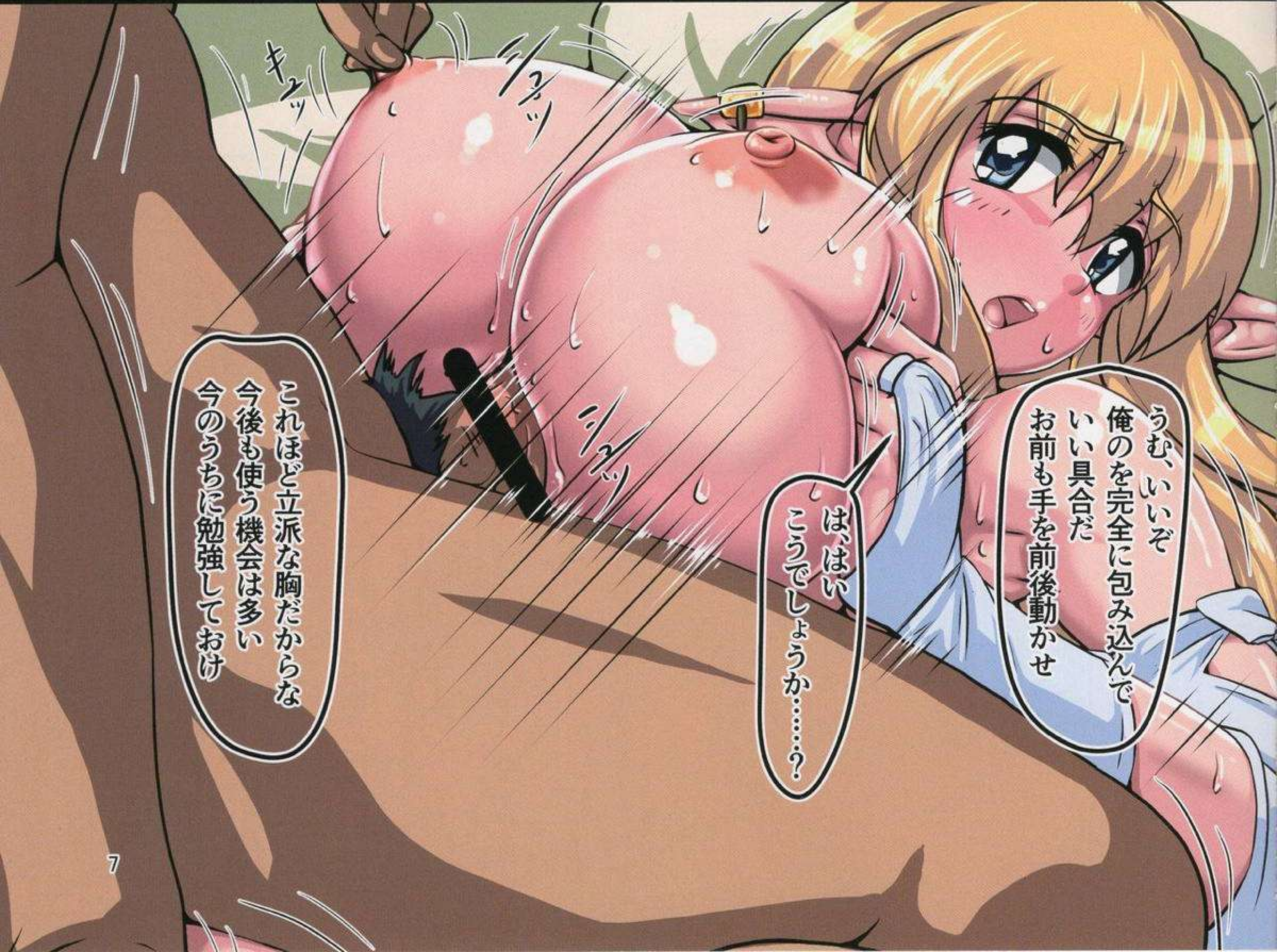
ひゅー!!

ポ

へへ

フ
ッ

お前も勝手がわからんだらう
これを胸にはさめ
俺が動いてやる



うむ、いいぞ
俺のを完全に包み込んで
いい具合だ
お前も手を前後動かせ

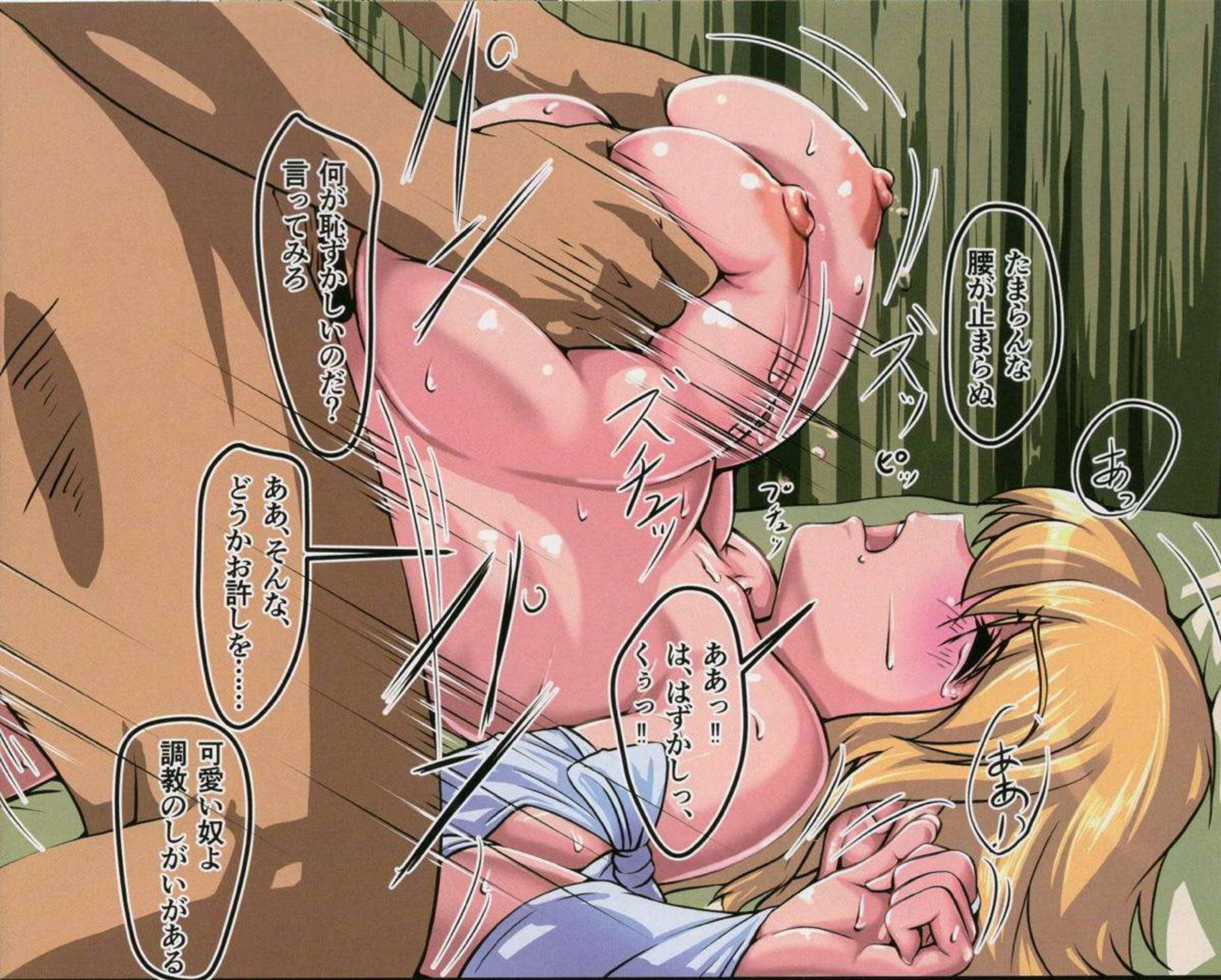
は、は、は
どうでしょうか……?

これほど立派な胸だからな
今後も使う機会が多い
今のうちに勉強しておけ

キツッ

ひゅー

ひゅー



たまらんな
腰が止まらぬ

あっ

何が恥ずかしいのだから？
言ってみる

ああ、そんな
どうかお許しを……

ああっ!!
はははがしゅっ
くうっ!!

可愛い奴よ
調教のしがいがある



そろそろ出すぞ
胸をちゃんと
押さえている

……?
ははは……

いいだろう
もう少しだ

ではこれからお前を抱く前に
忠誠の言葉を聞くとしよう

はい……

私はご主人様の所有物です
どのようなご命令にも……
従います

くくっよく言った
では早速始めるとするか
足を開いて俺を受け入れろ

うう……

くううっ!!

震える女の処女膜を破る
この感覚がたまらんだ

グググッ

プチチッ

プキッ

グッ

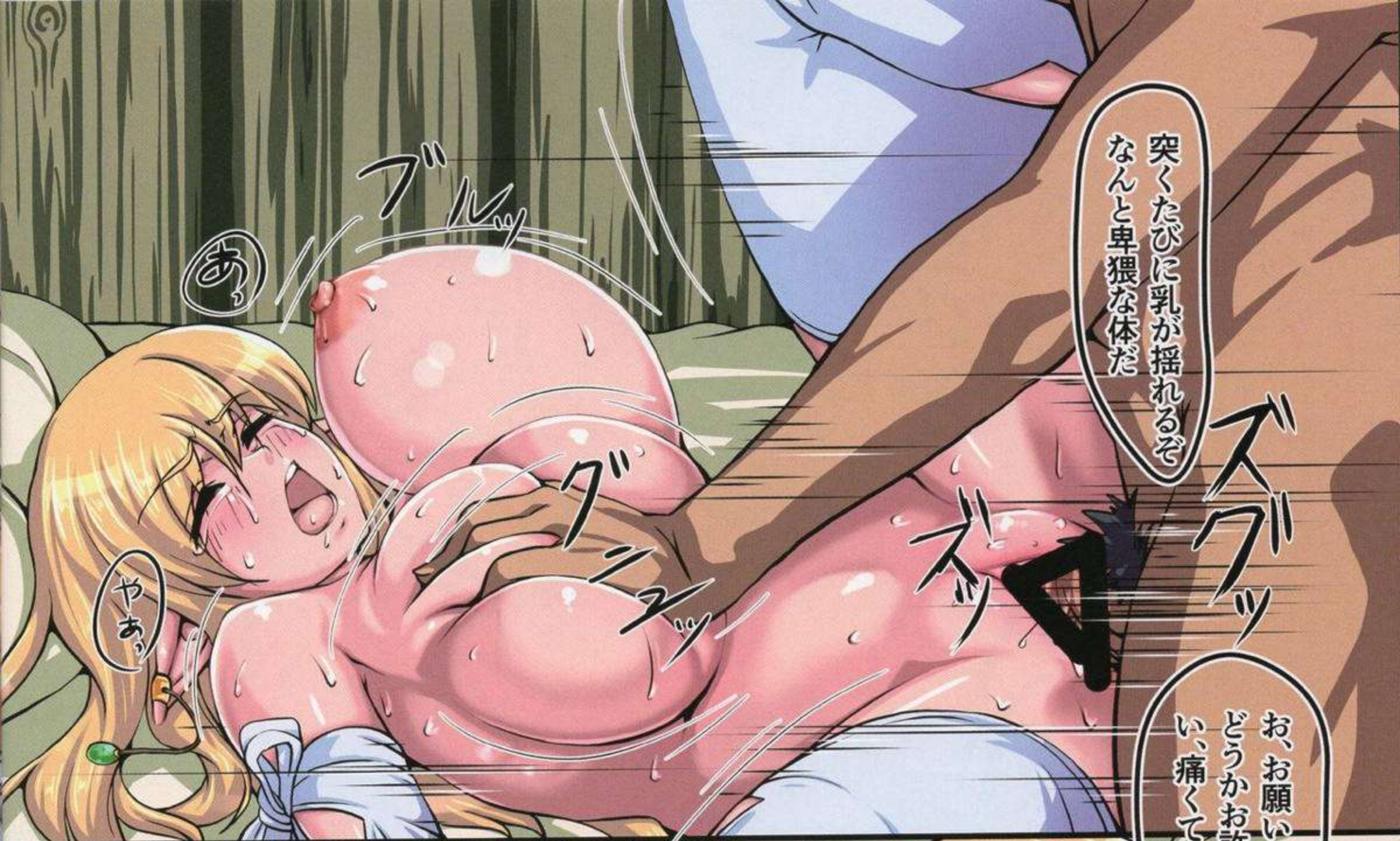
あああああっ!!

やはり初物はいいな
この絶望にまみれた表情が
何とも言えん

どうだ?
女になった気分は

はううっ!!

答えられんか
ではお前の体に
聞いていくとしよう



突きたびに乳が揺れるぞ
なんと卑猥な体だ

あ

ブル

グ
グ
グ

グ
グ
グ

グ
グ
グ

お、お願いします
どうかお許しを……
い、痛くて……

やあ



ぎやあうっ!!

ぐ
ぐ
ぐ

キ
キ
キ

ブ
ブ
ブ

ブ
ブ
ブ

自分の立場というものを
徹底的に教え込む必要が
ありそうだな



ほう、早速俺に
意見するとは

ハ
ハ

ハ
ハ

グ
グ
グ

ズ
ズ
ズ



しかし今は
時間がないのでな

すぐに領地へ戻らねばならん
お前を賤けるのは
それからだ

ガッ

スッ



まずはお前の中に
たっぷり証を
流し込んでやる

子を孕んだら
人かエルフか
どちらの容貌になるのか
楽しみだ

あ...

いっしょ...

あ...



いやああああああっ!!

いや……
そんなの……

ふう、なかなかの量だ
早速孕むかもしれないぞう……



ううう

お前の愛液と私の精液で
汚れたものを舐めとれ





あ……

ガタン

見えて来たぞ
あれが我が屋敷だ

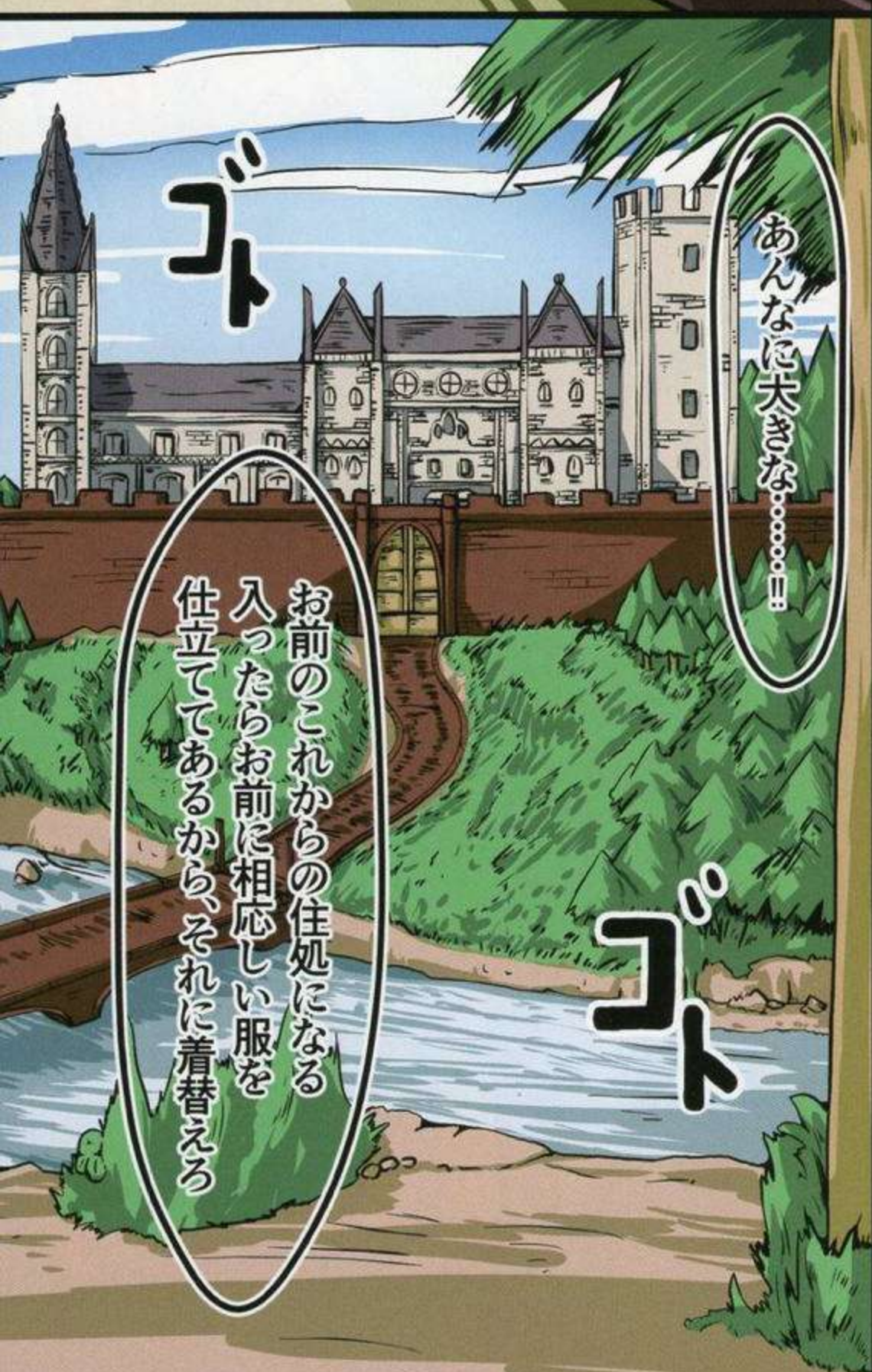
ガタン



ガタ

馬車を揺られて
半回ほど揺られてる

ゴト



ゴト

あんなに大きな……!!

お前のこれからの住処になる
入ったらお前に相応しい服を
仕立ててあるから、それに着替える

ゴト



これは……
服が透けて……

最高級の極薄シルク地に
防寒の魔法をかけて
あつらえた服だ
寒くはあるまい？

でもこれでは
人に見られてしまいます……

それがその服の目的だからな
さあこちらに来るんだ

んっ

クッ



まだ少し緊張しているな

では四つん這いになれ
後ろから犯してやる

はいはい……

女の悦びを
お前にたっぷりと
教えてやる

ああ……

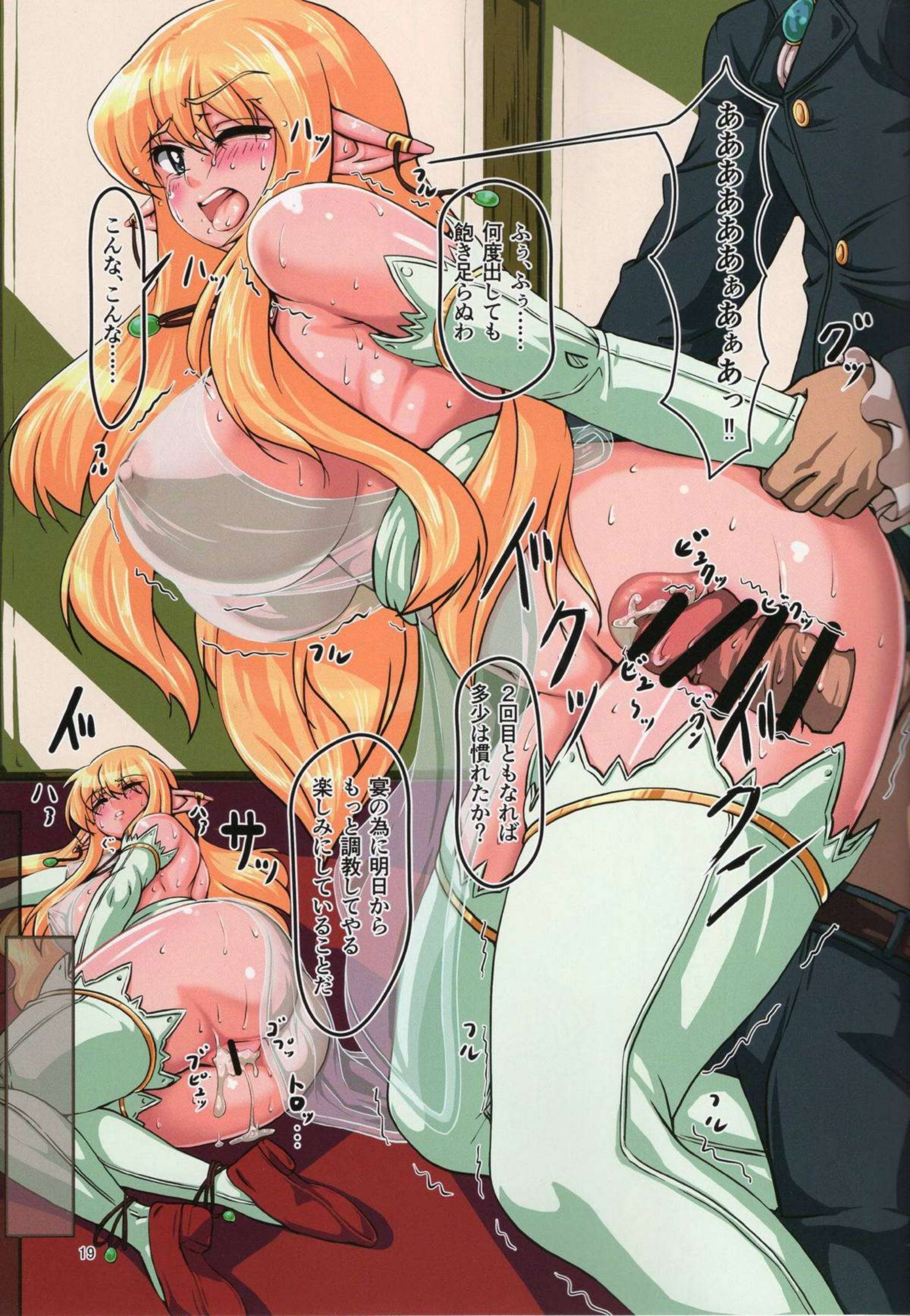


はははは！！

ブルン

ブルン

グググ



あああああああああああ！！

ふうふう……
何度出しても
飽き足らぬわ

こんな、こんな……

2回目ともなれば
多少は慣れたか？

宴の為に明日から
もっと調教してやる
楽しみにしていることだ

準備はいいなり？
ティファニア

んき

ポン

はいご主人様！

んき

教えたとおりに
客人方に挨拶するんだぞ？

はい解っております
お〇んこもちゃんと
準備してきました

キーン

よし、上出来だ
それでは行くぞ

き、今日は皆さま
お集まり下さり誠に
ありがとうございます

パタン

ザワ

私、ティファニアが
皆様のお相手を
務めさせていただきます

ザワ

どうぞ隅々まで
私の体を
ご賞味くださいませ

ザワ

ほう、話には聞いていましたが
これはまた美しい

ピッ

ラッ

悪魔共も
捨てたものでは
ありませんな



これは見てるだけでも
楽しめそうですな

一番槍は奪われましたが
しばし見物と行きましょう

あ...

では失礼します

おお、早くせい娘
待ちきれぬわ

ザッ

ザッ

ギョ

クチュッ



ここはたまらぬ!!

は、入りましたあ!!

おおおっ!!



いぞ中で
儂の一物が
いきりたつておる

お気をこして
何よりおす……



あの乱れよう
余程卿の躰が
よろしかったのでしような

いや、お恥ずかしい
毎晩寝けていたもので
この晚餐に間に合うか
心配でしたが
間に合つてよかつた

あ、
あ、
いいのぶら!!
ブルン

それはまたお盛んで
しかし良い買い物
されたものですね

はは、まったくです



はっんっんうう!

あ

あま

老骨も滾るわ
このような娘に……だが

そろそろ僕も
限界じゃ

はあっ!!

な、中で大きくなっ!

グニッ
グニッ
グニッ
グニッ

グニッ
グニッ

グニッ
グニッ

グニッ
グニッ



そ、それでは、
私の中にお出しされる前に
皆様にご挨拶を……

よからう

んっ

皆さま、私がこれから
お情けを子宮に頂きます所を……

どうぞ、とくどくとく
下さいます……

ズニッ

ズニッ

あとがき

本を手にとって頂きありがとうございます
ももしば杏子のなふたと申します。

今回はゼ〇の使い魔のティファニア本ですが
本文もフルカラーで挑戦したのは初めてなので
本になってどのような発色になるか不安と楽しみでいっぱいです。

このあとがきを書いているのは締切二日前で
またまた原稿制作が遅れる癖がついています。

ついにゼ〇魔の新刊も発売されてアニメ化待ったなし！
だといいなあ……

あと夏コミに受かってればまたゼ〇魔のショートオムニバス本を
出したいと思いますので今回の経験をうまく糧にしていきたいです。
それでは～

奥付

発行日：2016年5月1日
発行：ももしば杏子
著者：なふたん
E-mail：2oDskLow5oz@excite.co.jp
Web：http://momoshibaanzu.b.dlsite.net/
印刷所：大陽出版(株)

この作品はフィクションです。
登場する人物、地名、団体等は
実在する人物、地名、団体等と一切関係はありません。

注意！！
18才未満の閲覧並びにこの本の内容を
無断転載、複製、webおよびそれに準ずる
ネットワーク上にアップロードすることを
固く禁じます。



Presented by

ももしば杏子